



葉山のぎかい

発行日 平成19年4月14日

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111 編集 議会広報特別委員会



第1回(3月)定例会

- 平成19年度予算認定関連記事 2ページ
- 委員会レポート 10ページ
- 一般質問(13人登壇) 12ページ

平成19年度予算可決 総額182億1973万円



葉山中・上山口小・一色小

太陽追尾式ハイブリッド型発電機設置工事等盛り込む



葉山中・上山口小・一色小に
設置予定の太陽光発電機

一般会計当初予算

90億1100万円

第1回定例会を2月20日から3月16日まで開催しました。平成18年度補正予算5件を審査し可決したのち、町長の施政方針演説があり、平成19年度一般会計と国民健康保険・老人保健医療・介護保険・下水道事業の4特別会計の議案が提出されました。

8人の議員が、予算案に関して総括質問を行いました。その後、予算特別委員会において、金崎ひさ委員長のもと慎重に審査を行い、本会議に報告されました。4人の反対討論と3人の賛成討論がありました。すべて原案のとおり可決しました。

一般質問では13人の議員が当面する行政の課題をたしました。

19年度各会計別予算規模

会 計 名		本年度予算額	前年度予算額	比較増減	伸率%
一 般 会 計		90億1100万円	94億2300万円	△4億1200万円	△4.4%
特 別 会 計	国民健康保険	31億8743万円	28億3848万円	3億4895万円	12.3%
	老人保健医療	25億5644万円	25億5339万円	305万円	0.1%
	介護保険	19億8063万円	19億1374万円	6689万円	3.5%
	下水道事業	14億8423万円	17億4152万円	△2億5729万円	△14.8%
	小 計	92億 873万円	90億4713万円	1億6160万円	1.8%
合 計		182億1973万円	184億7013万円	△2億5039万円	△1.4%



平成19年度の主な新規事業

「昭和の日」創設記念事業

(200万円)

*「昭和の日」創設記念事業
推進会補助金

町民会議運営経費

(11万1千円)

町民相談事業

向原バス停日除け設置工事
(30万円)

国際交流事業

(222万7千円)

*国際姉妹都市(オーストラリア・ホルドファーストベイ市)締結10周年記念事業参加

各種福祉団体等補助金

葉山町遺族会設立60周年記念補助金

(10万円)

障害者自立支援事業

地域自立支援協議会設置

(29万3千円)

*障害福祉に関する中核的な役割を担う組織設置

子育て支援推進事業

(10万9千円)

*次世代育成支援行動計画の実現

発達支援システム推進事業

(8万1千円)

*発達障害児等のための相談・支援体制整備

健康づくり事業

自動体外式除細動器設置

(26万円)

*本庁舎・福祉文化会館・保健センターに設置

環境保全対策事業

ごみ分別チラシ各戸配布委託料

(66万円)

里山保全事業

(30万1千円)

*緑保全・葛の除去

町民農園促進事業

(41万1千円)

*有料での町民農園開設

真名瀬漁港再整備事業

(1億3164万円)

*漁港環境施設建設工事・効果調査業務委託・種苗放流業務委託等

地域まちづくり推進事業

(6万円)

*まちづくり条例に基づき、地域における協働のまちづくり推進

都市計画推進事業

(492万9千円)

*市街化調整区域見直し業務委託等

葉山しおさい公園管理事業

(1677万1千円)

*池・濾過槽清掃委託等

南郷上ノ山公園管理事業

(4986万3千円)

*テニスコートDEF全面改修工事等

津波ハザードマップ作成

(137万円)

*津波襲来時に陸地浸水度合いを示すマップ作成

防災資機材備蓄食料整備事業

(779万6千円)

*非常用飲料水兼貯水槽清掃、防災備蓄倉庫整備等

幼稚園就園奨励事業

(増額分64万5千円)

*私立幼稚園児の保護者への助成金1千円増額

上山口小・一色小各施設整備事業

両校での太陽追尾式ハイブリッド型発電機設置工事

(各302万4千円)

小学校耐震整備事業

長柄小学校耐震診断業務委託

(743万4千円)

葉山中施設整備事業

太陽追尾式ハイブリッド型発電機設置工事

(299万3千円)

青少年育成事業

ヨット体験講座

(6万3千円)

*自然環境の体験と危険防止の学習

土地開発公社補助

公園用地(旧大蔵省保養所跡地)取得利子補給

(250万2千円)

予算審議総括質問

こんな点が気がり

質問者の提出原稿を基に編集しています

2月26日・27日、19年度予算に対し総括質問を8人の議員が行ないました。

笠原 俊一

(尚政会)

問 行政運営の参考で、張市の破綻は、長期間の

不正経理を収入役、監査委員、議会がなぜ発見できなかったのか。

総務部長 一時借入金制度が原因と思うが、当町での財政運営では殆ど活用していない。

町長 健全財政確保に向けバランスシートなどを作成し、財政状況の公表に努める。

問 19年度予算の人員費増加要因はなにか。

総務部長 各種選挙の人員費が見込まれている。

問 町国民保護計画の作成状況について。

町長 現在計画策定の作業中、有事の際の避難誘導や訓練計画等、でき次第議会に報告し広報する。

問 保育中園児の急病時の対応について。

町長 急な発熱等は保護者への連絡のあと、必要に応じて医療機関へ診察依頼をする。

守屋 巨弘

(無所属)

問 三位一体改革に伴い



黒松も残したい旧大蔵省保養所跡地

需要見通しでは現在19年度から23年度までの次期事業認可に向け準備中で、当事業費は約98億を見込んでいる。ごみ処理広域化事業では昨年2月の協議会設立後、現在基本計画案の最終的な調整を行っており、当該施設建設費等策定以降所有資金の手当てなどに取り組む。施設の一部供用開始は22年度を目標としている。

畑中由喜子

(いきいき葉山みんなの会)

問 国からの税源移譲で葉山は逆に個人住民税の減収見込みというが。

町長 約3千万円の減収、県に対して見直しや然るべき措置を要望している。

問 新たに構築する行政評価システムとはなにか。

町長 14年から取り組んでいるが更に効率的、合理的な行政運営に努める。

問 集中改革プランには海の利用でバーベキュー、ジェットスキー、夜間の

花火など、迷惑行為の規制対策について関係機関と調整を図りながら検討すると書かれているが。

町長 ルールとマナーの啓発活動の強化を図る。

問 高齢者は国の施策だけでは到底安心して暮らせない。さまざまな支援策が必要だがどうか。

町長 自立支援に努めている。健康づくりや介護予防などの生活支援策を推進するとともに安心していきいきと暮らせる環境づくりに努めたい。

鈴木 知一

(21世紀同志会と公明の会)

問 フラット化による財政見通しを聞く。

町長 個人住民税率の10%フラット化や減税補てん債の廃止等による減収という厳しい財政状況の中で、第3次行政改革大綱及び集中改革プランの着実な取り組みと、財政の健全化を推進しつつ、一層の効率的・効果的な行政運営に努める。



一色公園に黒松を植樹

問 一色の旧大蔵省保養所跡地の購入と、「昭和の日」の記念事業や遊歩道計画について伺う。

町長 住民が主体となった「昭和の日」の創設記念事業推進委員会が昨年の12月26日に発足し、三つの事業を推進する。一つは4月29日に記念式典を開催する。二つは記念植樹をする。三つは、この跡地の約500坪を購入し、公園を設置する。そこを起点に安全で楽しく、快適な散策のできる散歩道を整備していく。

森

勝美
(蒼生会)

問 三位一体改革の税源移譲は当町は減収となる

ようだが、町長の所見は。

町長 個人住民税の税率が10%フラット化となり3千万円の減収見込み。

問 緑と自然環境の保全対策は。

町長 里山をつる類の刈り取り作業を町民と協働で実施する。

問 品格ある葉山の良好な景観計画のうち、町民との協働での課題は。

都市経済部長 広告景観形成地区を指定し、制限の強化に向け協議する。

問 消防職員は基準人数より少ない中、三交替勤務である。メンタル面を重視すべきでは。

消防長 人事異動を活発にし、年1回面接による意向調査で対応。

問 下水道事業で町は夕張市のように破綻するのではと町民が心配している。説明責任があるが。

町長 やり方に賛成か反対かの異議はあるが、概要は説明している。



旧廻葉新道沿いの広告類

阿部

勝雄
(日本共産党)

問 増税や負担増で、高齢者、障害者などへの町独自の対策は。

町長 介護保険料を、非課税世帯を細分化し7段階制とした。

問 ごみ広域処理と町独自試算の比較検討は。

町長 スケールメリット等、広域の利点は大きい。財政面の削減効果も期待

される。広域と独自と概算で比較検討している。

問 広域処理が有利とした判断材料は。

福祉環境部長 詳細に算出してはいない。中間処理以降、同レベルの処理は町単独ではできない。

問 トンネル1本40億円、現状の2本で済ませるためにも浄化センター施設整備実施設計に余裕を持たせる考えは。

都市経済部長 2本とも、同規模のトンネルだ。科学の進歩等も含めて、不可能との解釈か。

町長 さまざまな角度から検討はする。



葉山浄化センター外観

待寺

真司
(新葉クラブ)

問 環境面や財政面からもごみの資源化・減量化を、積極的に推進すべき。

町長 容器包装プラの分別収集・資源化量の増加に向け、より分かり易い周知方法を検討し啓発する。懸案である植木剪定枝の資源化は研究中だ。

問 水質汚濁地域に公共下水道を推進するため、一定の要件を満たした私道の、全面復旧を全額公費負担する考えは。

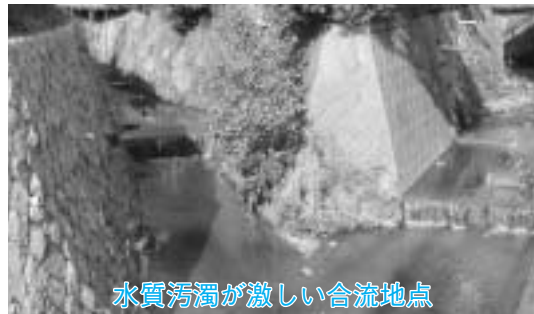
町長 今後課題として検討し、所有者の皆様と懇談する中で対応する。

問 子育て支援センター開設に向け、町民との協働による検討が進められるが、今後の流れは。

町長 3〜4カ月ぐらいを目処に検討していただき、調整を図っていきたい。

問 自主財源確保に向けた施策の展開について。

町長 役務に対する手数料料など受益者負担の公平性確保、町税徴収率の向上など多面的に取り組む。



水質汚濁が激しい合流地点

近藤

昇一
(日本共産党)

問 予算編成は、行政サービス向上が考慮されなければならぬが。

町長 財源の有効活用に努めた。

問 持続可能な財政を維持するため、財政見通しを作成し長期的・大局的な視点をもっておくことが重要ではないか。

町長 単年度計画はある。長期計画は至難の業。

総務部長 難しい状況だが、今後充分検討していきたい。

問 昨年、住民税大增税に例年の2倍に近い苦情・問い合わせが窓口に寄せられた。6月には住民税の定率減税が全廃される。さらに消費税を10%にすると計画も浮上している。住民に一番近い福祉関係の対人サービスを担う基礎自治体としての役割を果たさなければならないが、どのような施策が盛り込まれているのか。

町長 行財政の健全化を念頭に対応する。



白石橋より下山川下流を望む

予算特別委員会の審査報告

2月28日から7日間に
亘り、現地踏査を含め関
係部課長の説明及び資料
の提出を求め、細部に
いたる審査を行いました。

その後3月9日に、町長
に対し10項目の質問を
し、委員会の意思決定を
行いました。

町長質問事項

- 1 新春の集いの開催方
法について
- 2 町政功労者表彰のあ
り方について
- 3 外部監査制度の導入
について
- 4 国際交流事業につい
て
- 5 ごみ処理の焼却方法
について
- 6 し尿処理の焼却方式
について
- 7 心身障害者手当支給
事業について
- 8 特別選択人間ドック
について
- 9 国営公園設置促進期

成同盟の今後の方針
について

10 下水道事業の今後に
ついて

◎質問事項に対する質疑

問 新春の集いの開催方
法について、誰でも自由
に参加できる方策をとっ
たらいかがか。

町長 毎年平均約400人の
者に参加していただいて
いる。そのうち一割はご
案内を出していない方で
ある。会場のスペースの
問題等があるが、今後も改
善しつつみんなで新春を
楽しめる会にしたい。

問 町政功労者表彰のあ
り方について、現在、商
品券をお祝いに差し上げ
ているのを表彰状のみに
してはいかがか。

町長 私も全く同感で、
ご指摘を踏まえ委員会を
設置してなるべく早く改
革の方向で進める。

問 外部監査制度の導入
について、日経新聞によ

ると「財政悪化時、市町
村も外部監査」とあるが
当町においても19年度中
に採用するようにできな
いか。

町長 すでに行政内部で
検討をしているが、19年
度中にどこまでというこ
とではないが、夕張市の
状況から総務省でも流れ
として推移していくので
はないか、それらを想定
しつつ、さらに検討を加
える中で適切に対応した
い。

問 国際交流事業につい
て、ホールドファストベ
イ市との姉妹都市の締結
を10周年を期に、国際交
流協会があるので、行政
対応ではなく民間に任せ
る考えはないか。

町長 強固な国際間の絆
は大切にしなければなら
ない。10年一区切りだと
考えている。従来からも
協会が窓口になって、事
業を展開しているし、も

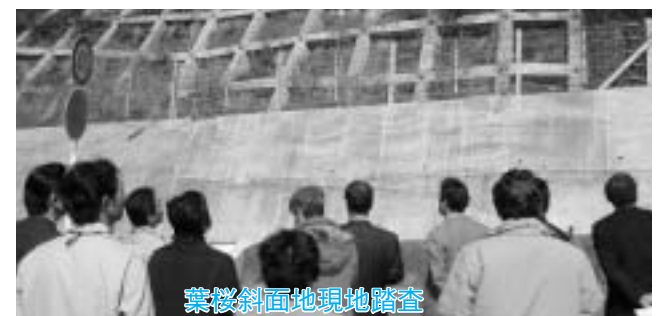
うすでにその方向で進ん
でいる。10年経つと社会
情勢も変わってくるの
で、お互いに検討しあう
ことは良いことだと考え
ている。今後も引き続き
交流は続けていくべきだ
と考えている。

町長 広域でのある程度
の枠組みが見えてきた時
点で、当然、対比をさせ
ていただく。広域化が破
綻すれば町単独もあり得
るが、基本的には2市1
町の枠組みを前提に検討
している。

問 し尿処理の焼却方式
について、町長はすでに
変更する考えのようだが、
下水処理への希釈方式や
広域での対応処理など、
いくつかの方法が考
えられている。変更の目
標年度を明らかにできな
いか。

町長 希釈の方法でやる
にしても、さまざまな面
から調査をして、近隣の
方々のご理解等クリアで
きないと目標に到達しな
い。それから逐次解決し
ていきながら、地球温暖
化の環境面からもなるべ
く早く焼却方式から脱却
したい。

問 心身障害者手当支給
事業について、障害者自
立支援法に基づくと、3
障害がすべて分け隔てな

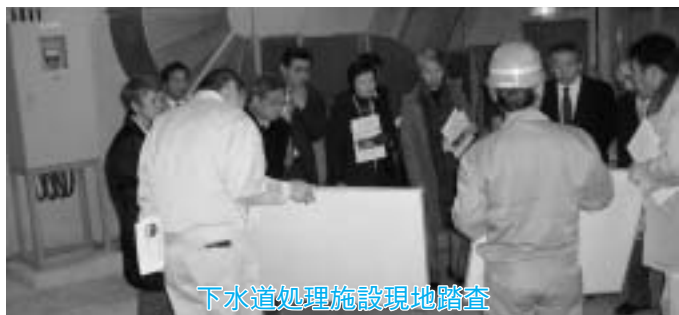


葉桜斜面地現地踏査

く受けられる事になって
いるが、精神障害者も含
めるべきではないか。
町長 検討の結果、年1
回の手当とする方法より
も、医療費に加えた方が
より親切であると考え、
障害児者医療費助成事業
の中に精神障害者を加え
ている。
問 特別選択人間ドック
について、19年度は半減
し、1万円となるがその
理由は。
町長 近隣ではすべて支
給していない。2万円を



国際交流事業での一コマ



下水道処理施設現地踏査

1万円にしたが、良く残したと言っていただけだと考える。理由は大体1万円以下で受けられる方が56%、それ以上が44%であり、現在の社会状況でさまざまな医療・福祉を勘案して適切な対応だと考える。

問 国営公園設置促進期

成同盟の今後の方針について、30年も負担金を出している。果たして国営公園が本当にできるのか。

今後についてはどうか。

町長 国営公園設置促進

期成同盟が中心に三浦半

島の環境保全に今後も考

えて行く。当町の緑は近

郊緑地特別保全区域にな

り、緑の保全地区として、

県で緑を買い上げてもら

う方向にシフトしてきて

いる。

問 下水道事業の今後につ

いて、財政計画も含め

の将来展望を伺う。

町長 身の丈にあった対

応を図るべきであり、や

みくもにこの事業を展開

していくわけではなく、社

会情勢を加味する中で適

切に対応していきたい。

すでに指示を出している

が、毎年でもローリング

して見直していかなけれ

ばならないと考えてい

る。

以上、審査の結果、一

般会計予算、国民健康保

険特別会計予算、下水道

事業特別会計予算は賛成

多数で可決すべきものと

決しました。また、老人保

健医療特別会計予算、介

護保険特別会計予算は全

会一致で可決すべきものと決しました。

なお、平成19年度予算

特別委員会の総意とし

て、次の指摘事項5点と、

要望事項5点を付しまし

た。

指摘

1 ポスティング方法に

ついて、配布漏れ重

複配布等の防止に、

より一層の努力をさ

れたい。

2 町有建物は定期的点

検と計画的な修理を

されたい。

3 し尿処理の焼却方式

からの変更について

は、目標年度を明ら

かにされたい。

4 マリンロード計画の

立案、推進について

は町民の意見を十分

に反映されたい。

5 下水道事業は財政計

画を明確にされた

い。

要望

1 入札は地元業者の育

成も考慮し、予定価

格事前公表制度の導

入を要望する。

2 いけがき設置奨励費

補助金は、ブロック

塀の取り壊し費用

も、補助対象とする

ことを要望する。

3 かながわ美化財団の

海岸清掃委託料は減

額したが、より充実

した海岸清掃を要望

する。

4 ハイキングコースの

看板増設と、町内案

内看板の表示を見や

すくすることを要望

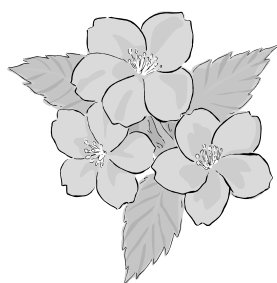
する。

5 予算審査に伴う資料

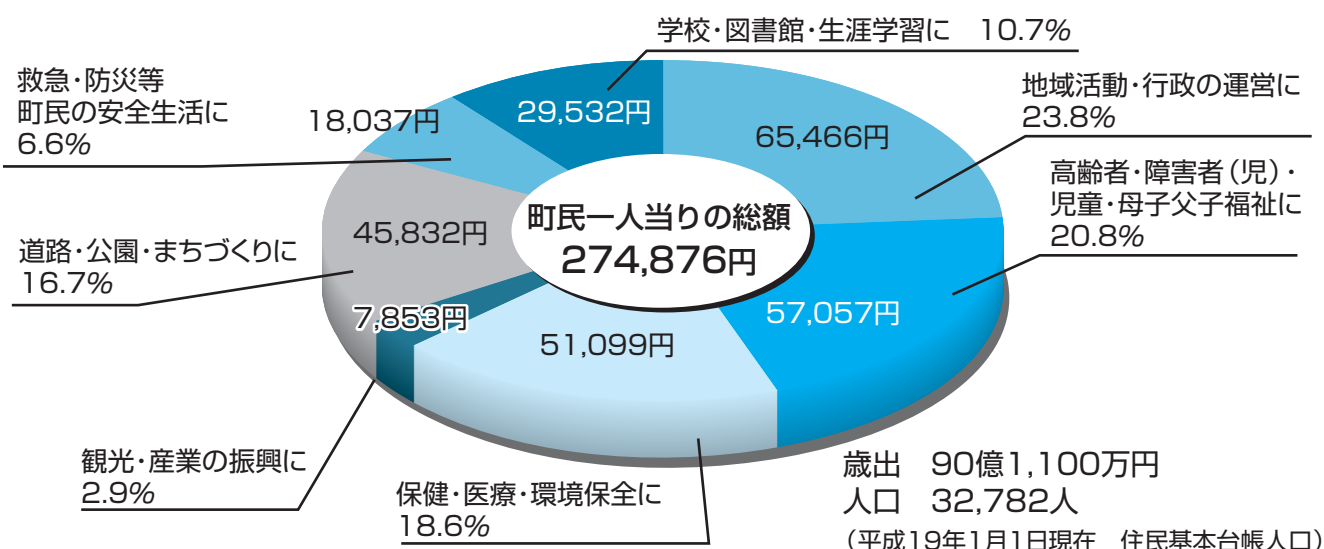
は、要求内容に的確

に対応することを要

望する。



町民一人当りの一般予算の使いみち



平成19年度の予算審議結果

待寺 真司
加藤 清
鈴木 道子

賛成

討論

反対

近藤 昇一
畑中由喜子
森 勝美
守屋 亘弘

◎一般会計

- ・ 里山保全事業や業入鳥獣駆除などの自然環境対策は評価できる。
- ・ 子育てについては子育て育成課の設置、子育て支援センターの促進準備委員会の発足、町単独幼稚園就園奨励金及び児童手当の増額、町立保育園の一時保育、特定保育の開始、発達支援システムの構築など充実が計られている。
- ・ 旧大蔵省保養所の跡地の公園用地としての取得とそこを拠点として遊歩道の整備を盛り込んだ「昭和の日」記念事業を住民との協働で実現していくことは有意義である。
- ・ 教育に関しては長柄小学校耐震診断、同アスベスト対応工事、葉山小学校体育館耐震工事、環境教育目的の太陽追尾式ハイブリッド型発電機の導入、いじめ問題を始める相談業務の充実と職員増などさまざまな配慮がなされている。
- ・ 安全のために葉山町津波ハザードマップが作られる。
- ・ 健康増進策として南郷公園のテニスコートの張替えが行われる。またAED（除細動器）の設置も進められる。
- ・ 地域支援協議会の設置など障害者福祉にきめ細かい配慮がなされている。

◎下水道事業特別会計

- ・ 水環境の保全のため「身の丈」に合った形で下水道事業が推進される。

◎一般会計

- ・ 予算の枠配分方式は事業評価システムの確立があつてはじめて可能であり、現状では採用すべきでない。
- ・ 昭和の日記念事業は本質は町の委託事業であり、他の補助金が削られている中、事業費全額補助はおかしい。
- ・ 国際交流事業は民間外交として見直されるべきであり、町長、議長の10周年記念式典への参加は財政の現状から必要ない。
- ・ ごみ処理については自区内処理を視野に入れ、比較検討資料の提示が必要である。
- ・ し尿の焼却処理は早期に改善されなければならない。
- ・ 高齢者、障害者の負担増を軽減するため、国の施策の不足を補う施策が足りない。
- ・ 心身障害者手当て、障害児者医療費助成、自動車燃料助成各事業で後退が見られる。
- ・ 3障害の平等化が法律どおり計られていない。
- ・ 小・中学校就学助成金のレベルが低下している。
- ・ 町政功労者表彰事業で商品券贈呈は不必要だ。

◎国民健康保険特別予算

- ・ 機械的な短期証、資格証の交付をやめ、負担増の一層の緩和措置がとられなければならない。

◎下水道事業特別会計

- ・ 長期的な観点から、下水道事業の財政計画の提示と説明責任が果たされていない。
- ・ 借金返済のために借金をするような事業になっている。すでにこの会計は破綻していると思われる。

予算審議に要した日数

7日間
賛成多数

各会計別予算の結果

- ◎一般会計賛成多数
- ◎国民健康保険特別会計賛成多数
- ◎老人保健医療特別会計全員賛成
- ◎介護保険特別会計全員賛成
- ◎下水道事業特別会計賛成多数

認定



平成18年度補正予算

補正予算質疑

問 旧大蔵省保養所跡地全体の3分の1は、町が購入と貸与で取得するが、残りの3分の2は国に無償貸与の働きかけをしたのか。

町長 国に行き、各担当責任者と会い、折衝している。現地には担当者と一緒にいき、調整を図っているが、現在の国の基本的な対応は、無償貸与は考えられない。

問 取得をすることに対して、18年度より債務負担行為を行うが、土地開発公社の取得はいつか。
総務部長 今回は全体の3分の1、約504坪を町が取得する。このうちの3分の2を町が買い上げる。18年度に公社が先行して取得する。
問 18年度はあと2カ月

しかないが、年度内に予定されているか。
総務部長 取得契約は3月末を予定している。
問 3分の2は町が取得するが、3分の1は貸与であり、貸与部分の所有権の移転は発生しないのか。
総務部長 18年度は発生しない。
問 利子補給を行うのか。
総務部長 3分の1の部分は、国と無償貸与の契約を行なう。

歳入歳出予算の総額

(単位：千円)

会 計 名	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
一 般 会 計	9,757,510	124,666	9,882,176
特 別 会 計	国民健康保険	63,344	3,110,767
	老人保健医療	33,117	2,587,534
	介護保険	225	1,923,909
	下水道事業	79,000	1,821,298
	小 計	175,686	9,443,508
合 計	19,025,332	300,352	19,325,684

こんなことが 決まりました

◎葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例
全会一致で可決しました。

◎葉山町一般職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例
近藤昇一・畑中由喜子議員の反対討論、待寺真司・鈴木道子議員の賛成討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

◎監査委員の選任について
櫻井勳氏の選任に全会一致で同意しました。

◎葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例
全会一致で可決しました。改正内容は機構改革に伴い、常任委員会の名称変更と委員の定数です。

教育福祉常任委員会を教育民生常任委員会に変更。
委員の定数を9人から8人とししました。

◎葉山町議会会議規則の一部を改正する規則
全会一致で可決しました。

◎葉山町職員特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
近藤昇一・畑中由喜子議員の反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。



委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています。

総務建設

「葉山町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」

議会休会中の3月6日、担当部課長等の出席を求め、審査を行いました。

この条例は人事院勧告に基づき給与制度が見直されたこと並びに第3子

目以降の子等の扶養手当支給額が見直されたことに伴い改正されるものです。内容は、①現行給与表の号給を4分割し4号昇給を標準とする。②昇給時期を年1回とする。

③特別昇給制度の廃止④枠外昇給制度の廃止⑤第3子目以降の子等の扶養手当を10000円増額する。というものです。

審査において委員からは次のような意見がありました。

1 扶養手当の増額は子育て支援等の観点から評価できるが、給与制度の改正は的確な人事評価システム確立後に行うべきであり、安易な実施は職員の勤務意欲低下につながりかねない。

2 ほとんどの県内自治体ではすでに改正されており、町のラスパイレ指数も100を超えている状況を考慮すると改正は必要である。

以上様々な意見がありましたが採決の結果、賛

成多数で可決すべきものと決しました。

「葉山町観光協会に対する監査を求める陳情書」

この陳情の趣旨は、地方自治法第98条2項に基づき、議会が監査委員に対し葉山町観光協会の監査実施を要求すること、を求めるものです。

審査は、町有財産基準、観光協会の町への貢献及び町有財産使用状況、行政財産目的外使用許可時の管財課と産業振興課との協議内容等について行いました。

委員からは、①「町の観光協会への対応には問題があり陳情には妥当性がある。」②「この問題は、町・県への監査請求、請願にて既に結論を得ている。」③「新規の陳情であり結論を得るには、再度資料収集等の慎重な事実確認が必要であるが、議員任期を考慮するとその時間は残り少ない。」等の

意見がありました。採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと決しました。

意見がありました。採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと決しました。

「巨額脱税の当事者である守屋大光氏が会長を務める葉山町観光協会への実質的な財政的支援の停止を求める陳情」

この陳情の趣旨は、観光協会は過去長年にわたり脱税行為を行ってきたとして議会に対し、町の観光協会への特別な便宜供与を停止させることなどをとめるものです。

審査は、議会の権限、監査請求に対する担当課の対応等を中心に行いました。

委員からは、①「陳情事項は、議会の権限の及ばぬ問題であり採択は難しい。」②「脱税行為であるとすれば犯罪であり、司法の判断に委ねるべき問題である。」③「更に審査を継続して行うべきである。」等の意

見がありました。採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと決しました。

教育福祉

「子育て支援課の設置、小児科の誘致、堀内児童遊園にトイレ設置を願う陳情書」

子育て支援課の設置と小児科の誘致に関しては採択すべきとの意見でまとまりましたが、トイレの設置に関しては地元町内会等と陳情者との話し合いが継続中とのことであり、審査の結果、前回一致により、一部採択すべきものと決しました。

見がありました。採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと決しました。

委員長 伊東圭介

「高齢者の確実な医療保障を求めることに関する陳情」

「療養病床削減・廃止方針撤回の意見書を求める陳情」

「リハビリテーションの算定日数制限中止の意見書提出を求める陳情」

3件の陳情は国の医療制度改革に伴う問題であり、関連があるため一括して審査を行いました。

委員からは今回の医療制度改革は、高齢者をはじめ多くの医療を必要とする人々にとって大変重要な問題であり、国に意見書を提出すべきとの意見がありました。審査の結果、全会一致により、趣旨了承し、意見書を提出すべきものと決しました。

「市町村管理栄養士設置に関する陳情書」

陳情の趣旨は、地域住民の健康を確保するため



新しくなった葉山港管理事務所

実施する効果的な健康づくり・栄養改善事業に不可欠な、専門的知識・技術を有する管理栄養士を正規職員として配置することを求めているものです。

審査の中で、「町民の生活習慣病などを防止し健康を確保することは、結果として医療費の削減にもつながる」「趣旨は充分理解できるが、行政改革推進の立場から新規採用を促すような陳情には賛成できない」などの意見がありました。委員会は、食育をさらに推進させるために、その施策の充実を要望するものです。審査の結果、賛成多数により採択すべきものと決しました。

委員長 金崎ひさ

議会運営

「葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例」
「葉山町議会会議規則の一部を改正する規則」

内容は葉山町議会議員

定数条例、行政組織条例、地方自治法が改正されたことに伴い、常任委員会の名称、委員定数、所管事項、委員の選任等についての改正です。

行政組織条例の改正に伴い、教育福祉常任委員会の名称を検討し、名称は教育民生常任委員会となります。所管事項が一部変更します。議会定数条例の改正により議員数が一名減となるため、教育民生常任委員会の定数が8名に改められます。

地方自治法改正に伴い議会閉会中は、常任委員会委員、議会運営委員会委員、特別委員会委員の議長による指名等が可能となるためその規定を整備したものです。

施行期日は平成19年4月1日からです。

議会会派室が2月1日から使用できるようになり、各議員の研究・研鑽の場所が確保され、より活発な議員活動が期待されます。

れます。

平成18年12月14日、12月19日、平成19年1月17日、2月5日、2月14日に会議を開催しました。

会派の定義について等の議会改革について議論し、議会の予算を審議しました。

2月14日と3月9日に平成19年第1回定例会の日程、議案、陳情等の取り扱いについて協議しました。会期は2月20日から3月16日までの28日間としました。

「葉山町議会の改革を推進するための陳情」については継続審査としました。



わかめ棚の引き上げ作業

2月6日に群馬県吉岡

町から来町があり、議会活性化等のテーマで、19名の視察を受けました。

委員長 鈴木道子

ごみ問題特別

3月28日、委員会を開催いたしました。

テーマは2市1町ごみ処理広域化の進捗状況と容器包装プラスチックの分別収集状況の2件でした。

担当課から、まず広域化基本計画案の骨子として、①各市町の役割と広域処理の範囲②広域化に向けた減量化・資源化の目標量③広域におけるごみ処理量④広域が実施する資源化方法⑤現状と広域処理の資源化率等の比較⑥広域におけるごみ処理システム⑦広域処理に伴う組織の考え方⑧広域化に伴う負担割合、および移行期間のごみ処理、今後の課題についての説明を受けました。また3

月31日に一部事務組合設

立の覚書が締結される予定であることも明らかにされました。その後各項目について活発な質疑や意見の提示がありました。

その中で、不燃物施設と最終処分場の稼働は平成25年、生ごみ処理、バイオガス化については同28年を予定していることが述べられました。質疑は主に負担割合と広域化することのプラスチック、町の老朽化した焼却施設への対応等に対してのものが多くありました。

容器包装プラについては、最初は順調だった残渣率が今年に入って悪化しており、3月は26.7%であると報告されました。

委員長 佐野司郎

議会広報特別

議会だよりの発行は、

概ね定例会終了後1カ月を目途に、原稿準備・写真撮影・割り付け・入

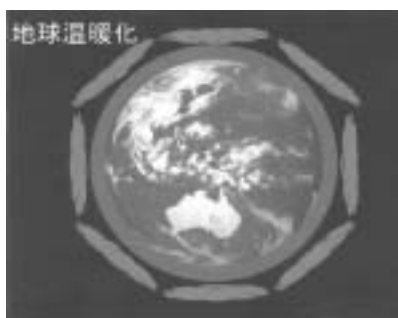
稿・校正の各作業を、委

員会メンバー一丸となり取組み、任期最後の「議会だより」編集作業が4月6日に無事終了いたしました。

大半の作業を議会事務局の職員の手になていますが、葉山では議員が自ら行っています。そのため視察に訪れる議会も多く、昨年は大磯町・山梨県昭和町から相次いで視察団が研修に来町されました。

これからも町民の皆様に読みやすく、議会での活動が伝わるよう鋭意努力し続けることが肝要と考えます。なお、今任期中に貴重なご意見を多数お寄せいただき、委員会を代表して心より感謝申し上げます。ホームページにも含め議会の広報活動に対して更なるご要望・ご指摘を賜りますようお願い申し上げます。

委員長 待寺真司



質問 っぱん

質問者の提出原稿（11字×50行）を基に編集しています

伊東圭介

**公正な入札制度の確立に向けた取り組みは
町長 一般競争入札の拡大等の制度改正を図る**



元経済の活性化も考慮し検討していく。

問 入札制度改正に伴う下水道等の工事関係部署の業務増加が予想され職員体制の検討が必要では。

町長 工程会議を開催し、工程管理の徹底をすると共に安全パトロールを実施し、工事現場の適正な施工体制の確保、安全管理の徹底に努める。職員体制についても機構改革に合わせて検討する。

問 平成19年度予算に盛り込まれている土地利用に関するの線引き見直し業務について伺う。

町長 平成21年の第6回線引きに向け国・県との調整を行い、都市計画基礎調査等を基に「区域区

佐野司郎

**広域連合には合併促進効果が
町長 むしろ町の自立に役立つ**



物の削減などに取り組んできたが、12年比2.6%増加している。

問 防止計画とは。

福祉環境部長 5年計画であり18年に精査して19年に新たなものにする。内容をまとまりのあるものにしたい。

問 今後は。

町長 し尿、浄化槽汚泥

問 対策の進め方は。

分」及び「整備・開発・保全の方針」の見直しを行い、必要となる資料や図面等を作成する。

問 町の方針は。

町長 今後の線引き見直しについては、人口減少、高齢化社会の進展や厳しい財政状況等、近年の都市計画を取り巻く状況を見極めながら土地利用計画を検討していく。

問 全町的に町民の意向調査をすべきではないか。

町長 必要な時期に来ているので実施する方向で検討する。

問 市街化調整区域の市

町長 行政のすべき事は早急にやる。住民に対しては、早い対応の必要性のPR、対策の啓発に努める。

問 小中学校での教育は。

教育長 授業では現状等学んでいる。ハイブリッド発電システムを3校に導入し、環境教育に役立

町長 既に打診はしているが、相手の事情もある。粘り強く努力する。

問 広域行政について。

町長 広域連合を含め、町が自立していくための手法として活用できる。ごみ処理、消防について近隣自治体と調整中。



市街化調整区域の風景



庁舎内の事務のようす

鈴木知一

もっとインターネットの有効活用を 町長 今後も引き続き検討していきたい



問 当町のホームページ

にも平成18年7月より、資産の有効活用と地域経済の活性化、財源の確保のために、町ホームページへの有料広告（バナー広告）の掲載を始めてい

る。小さな面積の枠だが月額2万円で、2社が掲載されている。もっと積極的に活用してはどうか。

町長 規正などあるが今後も増やしていく。

問 庁舎内のパソコンもインターネット接続になっているが、管理者による制限があり、自由に見ることができない。調べたいことがあるが、何度

もこの制限にかかり、見ることができない。この規制はどうしても必要な事なのか伺う。

町長 今までの経緯があり、難しい問題だが検討する。

横山すみ子

旧逗葉新道のバスベイ、バス路線の見通しは 町長 バスベイは20年度までに。南郷バス路線は存続



問 旧逗葉新道の歩道工

事に伴い、地元の要望に応じてバスベイ設置とバス路線の変更が協議されている。見通しを伺う。

町長 川久保橋付近の逗子駅から国際村へ向う道

筋のバスベイは19年度に、逗子駅に向かう道筋のバスベイは20年度に整

問 役所のロビーで無料

無線LANのサービスを開始した自治体がある。当町でも早期に実現してはどうか。

町長 検討していきたい。

問 助役や秘書課などチームで発信してはどうか。

町長 検討していく。

町長 検討していきたい。

問 町長の毎日の仕事を紹介して、日記風に書いていただくブログの活用を考えていただきたいが。

町長 なかなかハードル

備すると承っている。

バス路線は、南郷中学校線のバス路線は全面廃止の方向であったが、19

年4月から朝4本を2本に。午後は現行と同じ運行。南郷トンネル付近の

バスベイが19年4月供用開始になれば、国際村行きが午前5本、逗子行きが午後3本運行されると

のことである。

問 長柄の方々は、朝逗子駅方面に乗りたいたはずだ。なお、関係機関と交

渉していただきたい。

次に、発達につまずきのあるお子さんへの一貫した支援のため、本年度関係機関の横の連携の場づくりの予算が計上された。その構成、内容、スケジュール等を伺う。

町長 関係機関の横の連携の場づくりの正式発足に向けて、初年度として検討会議を設置する。

構成員として、滋賀県湖南市で全国に先駆けた発達支援の取り組みをさ

れ、現在国立特殊教育総合研究所の総括研究員を

合研究の進行を見守り発達支援システムの構築に向けた取り組みを進めたい。



大型路線バス

阿部勝雄

下水道事業の財政見通しと事業推進計画は

町長 時期を見て財政計画、事業計画を見直す



分に機器設置をするもの。

問 技術面や費用負担を含め余裕率を上げる策は。

町長 専門家に委ねる以外ないが検討余地はある。

問 今後の財政計画と事業推進計画は。

町長 23年度までの事業費見通しは約98億円。財

問 浄化センターの3機目の処理能力を引上げ、新たなトンネルを掘らないで済むことは出来ないか。

町長 3系列目の増設は、反応タンクや最終沈殿池など、すでに完成した部

清

加藤

観光客の誘致策は

町長 安心して歩ける道が必要



問 観光客の誘致の考えを伺う。

町長 誘致策は、新聞、雑誌への記載やインターネットなどのメディアの活用や近隣市と連携して、観光キャンペーンを行っている。今後は四季を通じて葉山の自然や文化を

H20年で底をつく。今後の財源確保は。

町長 毎年ローリングして対応し、その都度ご理解を頂くよう説明してゆく。

問 税制改正で国保料、介護保険料、保育料に対する影響は。

町長 国保料は影響あるが大きくは変わらない。介護保険料は影響がない。保育料は、国の基準額表

町長 国保料は影響あるが大きくは変わらない。介護保険料は影響がない。保育料は、国の基準額表

町長 国保料は影響あるが大きくは変わらない。介護保険料は影響がない。保育料は、国の基準額表

の一部改正の予定もあり、検討してゆく。

問 その他の料金への影響は。

町長 影響はない。

問 低所得者に対する支援策は。

町長 町民の負担軽減のため、小児医療、障害者医療、在宅高齢者住宅改修等の負担軽減を図っている。

町長 国保料は影響あるが大きくは変わらない。介護保険料は影響がない。保育料は、国の基準額表



安心して歩ける遊歩道

楽しみ、親しんでいたいただける環境整備をしていく。観光は見る所、食べる所、安心して歩ける所が必要である。安心して歩ける道づくりは「昭和の日」の創設を機に町民と協働して行っていく。

問 下山川沿いの遊歩道に木製橋を架けることを提案しますが。

町長 橋は県との兼ね合いがあるが、木製の歩く橋は趣きがあつてよいと

思い、県と話をしつつ、橋づくり、道づくりを心がけていきたい。

問 町民法人税を増収する施策を伺う。

町長 法人税は、大きな変化はなく推移する状況であり、今後さらにいろいろの角度から検討すべきと思っている。法人の誘致も視野にいれなければならぬ。ベンチャービジネスのようなあまり葉山の姿を変えない企業

が移行いただくことは策の一つとして考えなくてはならない。

問 新税の導入の考えを伺う。

町長 行政需要に則した、財源策等については平素から検討しているが、妙案が浮かばないのが現状であり、様々なことを検討して考えていく。研究はしているが簡単にいかないのが、実感である。



真名瀬の飲食店

守屋亘弘

国有海浜地の不法占用について 助役 不法占用ではない



問 鈴木助役の真名瀬の建物（現飲食店）について、去る1月11日、葉山町民オンブズマン代表理事・小島千尋氏が県知事宛に「葉山町助役鈴木勘

之氏の違反建築に対して厳正なる処置を求める要望書」を提出、県は正式受理し、先般中間報告を寄越した。その中で建ぺ

月11日から平成13年3月31日までの間、葉山町漁業協同組合に対して漁具倉庫用地として占用許可を与えたところであるが。

問 平成13年4月以降、同地域を含む管理権限が漁港管理者葉山町に移管された。先にオンブズマン関係者が公文書公開請求した結果、鈴木助役

助役 あくまで漁業組合から占用許可を得ているのであって不法占用ではない。不法占用との発言は撤回してもらいたい。現在飲食店の借り主と立ち退き交渉を行っているところである。

問 飲食店を撤去するということか。

助役 その方向で検討している。

近藤昇一

高齢者等の負担軽減策は 町長 検討する



問 昨年6月、住民税の課税通知が送付された直後から、あまりにも異常な増税のため、全国の市町村の窓口に高齢者の苦情や相談が殺到した。

自・公政権による、税制改悪の結果で、所得税や住民税だけでなく、国

許可を得て同組合員たる私が同様用途にて同組合經由で占用許可を得た。

具体的スケジュールは決まっていない。町民の意見を聞きながら進める。

保料や介護保険料などの公共料金や医療費自己負担額などにも影響する。

07年には定率減税の廃止でさらに負担が増える。これらの負担軽減策は。

町長 低所得者の負担軽減について検討する。

問 地域経済の活性化に有効だが、現行の在宅高齢者住宅改修費補助制度の活用をすすめる。

町長の窓口が高齢者の苦情や相談が殺到した。

自・公政権による、税制改悪の結果で、所得税や住民税だけでなく、国

町長 制度の有効活用を広報等様々な方法で行う。

問 小規模工事等契約希望者登録制度創設は。

町長の窓口が高齢者の苦情や相談が殺到した。

自・公政権による、税制改悪の結果で、所得税や住民税だけでなく、国

町長 制度の有効活用を広報等様々な方法で行う。

町長 検討する。



役場窓口のようす



子育て支援の充実を

待寺真司

不登校・いじめ問題の解消策は

教育長 学校内の体制作りが1番。相談事業充実にも努める



化を図っている。町内会・自治会とは緊急連絡の整備や合同訓練の実施等総合協力体制の構築に向け、促進強化を図る。

問 災害や大震災への対策などは、近隣自治体や自治会・町内会との連携の推進が急務であるが。

問 原子力空母の横須賀母港化に対応するための協議や情報交換の場は。

町長 県と4市1町の協議会で、災害情報ネットワーク通信整備等連携強化

町長 特設設けてないが、状況が変化すると即座に県から連絡が入るなど、対応・配慮がなされてる。

問 AEDの増設に伴い救急法の普及促進を。

消防長 応急手当の普及啓発計画に基づき、毎月講習会を実施し努める。

教育長 中学校での実施を推進していきたい。

問 いじめや不登校を解消するための施策は。

教育長 全職員の共通認識と情報の共有が肝要である。また教育研究所・学校教育課・福祉課・た

妊婦無料健診の回数増を

鈴木道子

町長 厚生労働省の通知もあり検討する

問 新たな子ども育成課の事業内容について伺う。

町長 児童福祉係や母子保健事業、新規の発達支援システム推進事業など子ども施策を集約する。

問 保育園の待機人数は。

町長 合計16人だ。

問 県内20市町で実施のファミリースポート事業を早急に実施すべきだが。

福祉環境部長 考える。

問 保育園の分園化と民営化は、どう考えるか。

町長 研究していく。

透明性は担保すべきだ。

問 マイナスの税源移譲に対する対応を望むが。

総務部長 県に改善策を要望。頑張る地方応援プログラムを活用も検討中。

問 市町村合併に対する現時点での所見を伺う。

町長 様々な問題を整理し財政基盤強化を図り、自立できる対応を全町挙げて考えていくべき。

町長 地元業者への配慮は理解するが、公平性・

町長 地元業者への配慮は理解するが、公平性・

町長 地元業者への配慮は理解するが、公平性・

町長 地元業者への配慮は理解するが、公平性・

町長 地元業者への配慮は理解するが、公平性・

町長 地元業者への配慮は理解するが、公平性・

町長 地元業者への配慮は理解するが、公平性・

町長 地元業者への配慮は理解するが、公平性・

町長 地元業者への配慮は理解するが、公平性・

町長 地元業者への配慮は理解するが、公平性・

町長 地元業者への配慮は理解するが、公平性・



防災は各種団体との連携が鍵

金崎ひさ 一泊二日の避難訓練を 町長 19年度実施する



問 一泊二日の避難訓練の内容は。

消防長 上山口小学校区で防災訓練を行うので、それと合わせて考えたい。

問 その際、救急法の普及も。

消防長 検討する。

問 災害時の弱者対策として、姉妹都市や関係機関などと提携が必要では。

町長 日頃良い関係を築いていることにより、協力いただけると思う。

問 ごみ減量化のため各スーパーマーケットにペットボトルの回収依頼を。

町長 今後レジ袋の件も含め要望したい。

問 廃油の引き取りを無料ルートにのせる検討は。

町長 3月から業者に無料引き取りをお願いしている。

問 油のクリーンセンター持ち込み収集を更にPRするべきだ。

福祉環境部長 各戸配布

するごみのリーフレットには記載している。

問 受益者負担の観点から、し尿処理手数料値上げの検討は。

町長 近隣市との比較から妥当な金額と思う。

問 桜の天狗巣病対策は。

町長 2月に簡易な場所は担当課職員により対応した。危険箇所について

は今後検討する。

問 軽度発達障害の理解のため全教職員に研修を。

教育長 19年度12回の研修を行なうので、全員に参加を呼びかける。

問 教職員・児童・生徒によるトイレ清掃は。

教育長 23年度までのトイレ改修計画に合わせて検討したい。

森 勝美 図書館・テニスコートなどサービス向上の為原則無休に 教育長 蔵書の点検・グラウンド整備で無休は困難



族介護者も休養できる施設として福祉の拠点整備ができないか。

福祉環境部長 福祉村構想の準備をしている。住民の意見が出たら考える。

問 子育て支援センターの機能と運営は。

町長 四月から開設準備委員会を検討する。

問 現在児童館で行っている事業は。

福祉環境部長 児童館のピヨピヨ相談は継続する。

問 防災対策で新築家屋に設置が義務づけられた

火災警報器の設置状況は。

町長 報告義務がなく把握は困難。

問 消防団員20名が退職見込みであるが支障は。

消防長 消防団員確保には苦慮している。広報紙で募集する。

問 ナチュラリザーブの保全対策は。

教育長 天然記念物に指定してあり後世に残す財

産としてパトロールをし啓発指導する。

問 海岸に設置予定の遊歩道は景観上も悪く、環境破壊になるが、観光客誘致のためか。

町長 町民が安心して歩ける道の要望がある。

問 森戸川流域等緑と自然環境整備は町主体のプロジェクトチームが必要。

町長 県と調整し、町民と協働で対応を図る。



総合防災訓練での参集の様子



全面改修予定のテニスコート

畑中由喜子
町長 今後、より良き対応策に努めたい



問 葉山は地形的に坂や狭い道の入り込みが多く交通不便地が散在する。高齢化率も高く、対策が必要では。
町長 高齢化の進展に伴い交通不便地の移動手段確保は重要だ。今後、より良き対応策に努めたい。
問 マリンロード計画は



逗子市のコミュニティバス

町長 作ってから10年以上になる。計画では砂浜にじかに遊歩道を作るようになっっており、海岸の様相が一変する危機感を持つ。
問 十分な協議と合意が必要だ。「昭和の日」記念事業とも連動することだ。
町長 が、内容を今一度明らかにする必要があるのでは。
町長 この計画は県の神奈川力構想・地域計画に位置づけられており町内の各海岸を連携させて海

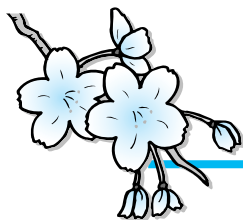
の魅力を享受する目的で整備計画の調査を行った。
問 「昭和の日」創設記念事業の一つである昭和の散歩道構想は計画内容や財源が不明で心配という声が上がっているが。
町長 町民主体の昭和の日記念事業推進会と庁内組織した推進委員会それぞれ部会を設置し、合同部会で旧主馬寮跡地から湘南国際村までの現地踏査を行い、土地の実態に則した検討をしている。

① 葉山処理区（一色）枝線 線（その14） 1543万5000円		② 葉山処理区（一色）枝線 線（その15） 1155万円		③ 葉山処理区（一色）枝線 線（その10） 1365万円		④ 庁舎改修工事（建築工事） 1260万円		⑤ 葉山処理区（一色）枝線 線（その3） 1050万円		⑥ 葉山処理区（一色）枝線 線（その6） 1260万円		⑦ 葉山処理区（一色）枝線 線（その4） 1942万5000円		⑧ 葉山処理区（一色）枝線 線（その7） 2341万5000円		⑨ 葉山処理区（長柄）枝線 線（その2） 1155万円		⑩ 葉山処理区（一色）枝線 線（その11） 1615万9500円	
12月		12月		1月		2月		9日		14日		20日		26日		31日		6日	
議会運営委員会		議会運営委員会		議会広報特別委員会		議会広報特別委員会		議員懇談会		議会運営委員会		議会広報特別委員会		総務建設常任委員会		総務建設常任委員会		行政視察来町	
26日		26日		7日		13日		14日		15日		16日		1日		2日		8日	
議会（定例会）		議会（定例会）		予算特別委員会		予算特別委員会		議会（定例会）		議会（定例会）		議会（定例会）		予算特別委員会		予算特別委員会		総務建設常任委員会	

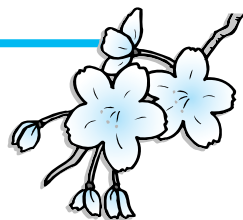
町長行政報告
(1千万円以上1千万未満の契約)

議会活動日誌

今回は、平成18年第4回定例会終了以降、平成19年第1回定例会終了までの活動報告をいたします。



みなさんからの 請願・陳情のゆくえ



- ◎子育て支援課の設置、小児科の誘致、堀内児童遊園にトイレ設置を願う陳情書一部採択
- ◎葉山町観光協会長の「納税していない」発言に関する請願書不 採 択
- ◎高齢者の確実な医療保障を求めることに関する陳情趣旨了承
- ◎療養病床削減・廃止方針撤回の意見書を求める陳情趣旨了承
- ◎「リハビリテーションの算定日数制限」中止の意見書提出を求める陳情趣旨了承
- ◎市町村管理栄養士設置に関する陳情書採 択
- ◎葉山町観光協会に対する監査を求める陳情書不 採 択
- ◎巨額脱税の当事者である守屋大光氏が会長を務める葉山町観光協会への実質的な財政的支援の停止を求める陳情不 採 択

◆◆◆ なお継続して審査します ◆◆◆

◎葉山町議会の改革を推進するための陳情

議会交際費支出状況 (平成18年10月～19年3月)

平成18年度下半期の支出総額は268,357円です。内訳は次のとおりです。(詳しくは議会ホームページをご覧ください)

種 別	件 数(件)	金 額(円)
慶 弔 費	5件	55,500円
見 舞 金	1件	10,000円
会 費	9件	55,000円
賞 品 代	3件	18,855円
謝 礼	1件	14,400円
寸志(祝金)	8件	96,352円
賛 助 金 他	4件	18,250円
合 計	31件	268,357円



穏やかな春の一色海岸

意見書を提出しました

医療制度の充実を求める意見書

今回の医療制度の改革は、高齢者をはじめ多くの医療を必要とする人々にとって大変厳しい状況となっている。

新たな後期高齢者医療制度では、本人負担が増大し、また入院患者にとっても療養病床の減少など、不安を感じる状況である。

つまり、医療制度の充実とはだれでもが、確実に必要な医療が十分に受けられることである。

よって国に対して、次の事項を強く要望する。

1. 高齢者をはじめだれでもが、確実に必要な医療が十分に受けられること。
2. 療養病床再編・廃止方針の見直しをすること。
3. 医療保険におけるリハビリテーションの診療報酬算定日数制限を撤廃すること。

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣

表紙説明

表紙の写真は、南郷上ノ山公園のグラウンドでサッカーの練習に、一所懸命取り組んでいる少年たちの姿を撮影いたしました。

山の木々も色とりどりに萌える、穏やかな春の一日。大きな声が公園内にこだましており、近い将来この少年たちの中から、日本代表選手が誕生するのはと、大いに期待が持てます。

南郷上ノ山公園には、多目的グラウンド・野球場・テニスコートなどがあり、週末になると



サッカーや野球・テニスの試合が行われ、とても賑やかです。親子連れの姿も多く、遊具で遊ぶちびっ子たちの明るい声に、こころ和むひと時が、明日への活力を与えてくれます。

緑の木々に囲まれていますし、清々しい風に一日身を任せてみるのも、リフレッシュいたしますので、是非ご家族でお弁当など携えて、休日をゆつくりと過ごしてみてもいかがでしょうか。

なお、本年度予算において、テニスコートDEFの3面の全面改修工事が行われます。

表彰

去る2月8日、畑中由喜子・加藤清・笠原俊一・鈴木道子各議員が、15年以上在職により、全国町村議会議長会から、自治功労者表彰を受けました。

おめでとございます。

人事異動が

ありました

新議会議務局次長



山本 孝幸
(前総務課長)
よろしくをお願いします。

前議会議務局次長



行谷 正志
(新会計課長)
お世話になりました。

新議会議務局長補佐



行谷 伸子
(前下水道課長補佐)
よろしくをお願いします。

前議会議務局長補佐



永井 秀子
(新総務課長補佐)
お世話になりました。



最近「鈍感力」という本が売れているそう。いきなり鈍感力など、奇妙なタイトルだと思うが、鈍感なのは生きていくうえで、強い力になるという。たとえば、なかなか嫌なことがあってもすぐ忘れて、前向きに進んでいける人、肉体的にもよく眠れて、目覚めもよく、なんでも好き嫌いなく食べて消化できる。こういう力こそ、本来の才能を育み、大きく花開かせる原動力になると書いている。

もう一つ、思い当たるのが、「免疫力」という言葉ではないだろうか。人間には、細菌やウイルスなどから自然に体を守る力がある。その主役が、免疫を担当するリンパ球などの細胞の総称、白血球だ。この免疫力が30年間で性質も変わってきた

という。自分の白血球ががついて、ストレスがたまるリンパ球が抑えられ、免疫力が下がる。逆にギが増えて来ている。21世紀は、いかにアレルギーを抑えながら免疫力を上げるといいう工夫が大切になる。どうして自分を攻撃するようになったかという、幼い頃から清潔な環境にいて、あまりにも雑菌と接していないからだという。

できれば無農薬のものなど多少雑菌のあるものを取り入れて、ペットや鳥や虫など自然とも触れ合い、ガーデニングなど土をいじり、人間本来の免疫力を取り戻すことが必要だ。

免疫力は精神ともつながり上げます。

お詫び

前号(平成19年1月20日発行の第87号)の12ページに「韓国議員団来葉の説明文中「ヨット協会会長」を「ヨット協合理事長」に訂正し、お詫び申し上げます。

